

★ 5 月の覚書 ★



〔月の呼び名〕 「皐月」の名は、田植を意味する古語「さ」からきたとも、同じく耕作月を意味する「早月」「早苗月」からきたとも。ほかに「稲苗月」「五色月」「建午月」「菖蒲月」

「橘月」「雨月」「月不見月」「仲夏」「星花」「梅天」などの名で呼ばれます。

〔旬のもの〕 山口素堂の名句〈目には青葉山ほととぎす初がつお〉にあるように、九州の南から黒潮に乗り、鯉の群れが回遊してきます。空豆、絹さや、グリーンピースに新キャベツなど、青々とした野菜も食べごろです。

〔5月の気象〕 気候的には一年でもっとも美しい時期ですが、時として遅霜や雹害に見舞われることも。また、発達した低気圧によって、「メイストーム」と呼ばれる暴風雨害が発生することがあります。雷注意報や竜巻注意情報が発表されたときにも、注意が必要です。

※出典：「日本の365日季節の道しるべ」 日本気象協会/著

「こどもの読書週間」です。 子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。



5/22は、「国際生物多様性の日」です。

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きています。図書館では、「生物多様性の本箱」から選定された本の一部を展示します。



「たまごのはなし」
ダイアナ・アストン/文



「いのちのつながり」
中村連/ぶん

「生物多様性の本箱」
～みんなが生きものとつながる100冊～

期間：5/9（木）～5/30（木）

場所：大垣市立図書館 児童閲覧室



【例えば・・・】

- ① 大好きな本の紹介 （皆さんにも読んでもらいたい、感動した本の紹介など）
 - ② 思い出の本の紹介 （子どものころ読んだ、読んでもらった思い出の本など）
 - ③ 本の活用方法の紹介（園芸や料理など、本を活用したエピソード紹介）
- などの投稿を募集しています。

「あなたへの一冊」